

資源略奪戦争としてのイスラエル・ガザ（ハマス）戦争

——東地中海の天然ガス田をめぐる——

明治学院大学国際学部付 属研究所名誉所員 涌井 秀行

1. はじめに

ロシアのウクライナ侵略から始まったロシア・ウクライナ戦争は、12月24日で1年10ヵ月になる。ウクライナ軍は、南部のザポリージャ州や東部のドネツク州などで一部の集落を奪還した、と強調している。これに対してロシア軍は新たな部隊を派遣し、東部ドネツク州で大規模な作戦を展開するなど、激しい攻防が続いている。ロシア軍とウクライナ軍の合計の死傷者数は、約50万人に上ると推計され、世界各地に滞在しているウクライナ難民は、630万8600人（UNHCR・12月5日現在）に上る、と言われている。ウクライナを軍事・経済面で支援してきた欧米諸国には「支援疲れ」も表面化し、ロシアとウクライナは、停戦の切っ掛けさえつかめないまま、正念場に立たされている。

この状況下、イスラエルとイスラム原理主義組織ハマスとの戦闘が勃発した。2023年10月7日ハマスのテロから始まったイスラエルの反撃は、ガザ（イスラエル占領）地区のハマス掃討、ガザ住民のガザ地域からの一掃、追い出しへと向かった。

2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、欧州諸国はロシア産エネルギー依存からの脱却を急速に進めている。実際、欧州委員会は2022年3月8日にロシア産化石燃料への依存を解消することを目指す『Re Power EU』¹を公表した。この中でEUは、ロシア産ガス輸入への依存を、1年間で3分の2減少させるというエネルギー分野での「脱ロシア」化の方針を決定した。

2010年代以降、レバノン・イスラエル・エジプト沖合の東地中海で、豊富な天然ガス田が次々と発見された。東地中海の新規ガス田は、エジプト・Zohr ガス田（確認埋蔵量30兆立方フィート）、イスラエル・Leviathan ガス田（確認埋蔵量22兆立方フィート）に代表されるように、いずれも大規模なガス田である。

こうしたガス田は、各国・地域の排他的経済水域をめぐる複雑な関係の中にある。レバノンとイスラエルのガス田の領有をめぐる、2023年10月11日に武力衝突が起きた。カリシュ・ガス田（ハイファ沖80キロ）をめぐるのである。このガス田は、イスラエルとレバノンが排他的経済水域を巡り係争中の海域付近に位置するため、イスラエルに対してレバノンから強い反発が起きた。レバノンのアウン大統領は「係争海域でのいかなる活動も敵対行為に相当する」と警告した。こうした状況のもと、イスラエルとレバノン武装勢力との衝突が起きたのである²。レバノン側の戦闘員について、パレスチナのジハードイスト（聖戦主義者）組織「イスラム聖戦機構」は、自らのメンバーだとしている。

¹ JETRO HP 「欧州委、ロシア産化石燃料依存からの脱却計画『リパワーEU』の詳細発表」
<https://www.jetro.go.jp/biznews/2022/05/aa40178dd246ac03.html> (2023/12/8)

² BBC NEWS JAPAN 「イスラエルとレバノン武装勢力も衝突 ガザ地区での紛争と並行」
<https://www.bbc.com/japanese/67074322>。

欧州諸国の「脱ロシア化」は、東地中海で生産され始めた天然ガスを、海底パイプラインでギリシャを経由して欧州へ送り込もうという構想と表裏の関係にあり、これが海底ガス田をめぐる武力衝突を引き起こしている。

2. イスラエル・ネタニヤフ政権によるガザ沖ガス田 (Gaza Marine) の奪取

イスラエルでは、2009年のTamarガス田(米・Noble Energy25%)の発見を皮切りに、キプロスとのEEZ境界に近いエリアで天然ガス田の発見が相次いだ。2013年のTamarガス田(生産能力1.1bcfd:日量約10億立方フィート)2019年末のLeviathanガス田(同1.2bcfd,米・Noble Energy40%)の生産開始³は、イスラエルのガス生産・供給力を一気に押し上げた。とりわけLeviathanガス田の生産開始のインパクトは大きく、生産が順調に進むと年産5BCM⁴(5立法キロメートル)程度の輸出余力が生まれる、という。これまで天然資源に恵まれず保有できなかったイスラエルにとっては、天然ガスの生産・輸出ができることは、干天の慈雨とでもいうべきことである。

先ほどのイスラエルとレバノンの紛争は、資源権益めぐって海洋境界線が画定され、「歴史的」合意⁵に達したもようである。米国の仲介対し、レバノンのアウン大統領は、満足感を示した、という。ただしレバノンの当局者らは、イスラエルとの間で「条約」が結ばれたわけでもなく国交正常化につながる動きもない、と述べている。イスラエルがカリシュのガス田で掘削準備を始めたことにレバノン内の反発強く、レバノンのイスラム教シーア派組織ヒズボラは、ガスの生産が始まれば生産施設を攻撃すると警告している。ガザ地区での紛争と並行して、レバノンとイスラエルは、現在も戦争状態にある。

第1図は、ガザ沖のガス田Gaza Marineの位置を示した図である。図を見るとわかるが、イスラエルにとって、ガザ地区沖合がガス田の開発や海底パイプライン通過によって、国際法上の排他的経済水域にかかわって、邪魔な様子が見え始める。そして何よりもガザ地区の沖合30キロにあるGaza Marine(1兆立方フィート)ガス田は、イスラエルにとって喉から手が出るほど欲しいモノである。事実、今年、イスラエルはガザ地区沖約30キロ沖合にあるガザ海域のガス田開発を暫定承認した。このガス田には1兆立方フィートを超える天然ガスが貯蔵されていると推定されており、進展は「イスラエル国家の安全保障と外交的ニーズの維持」にかかっている、とベンヤミン・ネタニヤフ首相の事務所は述べている。今年(2023年)6月18日エジプト・イスラエル・パレスチナ自治政府の3者でこのガス田の領有をめぐる協議中として、ネタニヤフ首相は次のように述べた。「イスラエルはガザ沖のガス田についてエジプト、パレスチナと調整中」⁶であると。しかしもう一方の当事者であるパレスチナ側は、これに応じていない。「私たちはイスラエル人

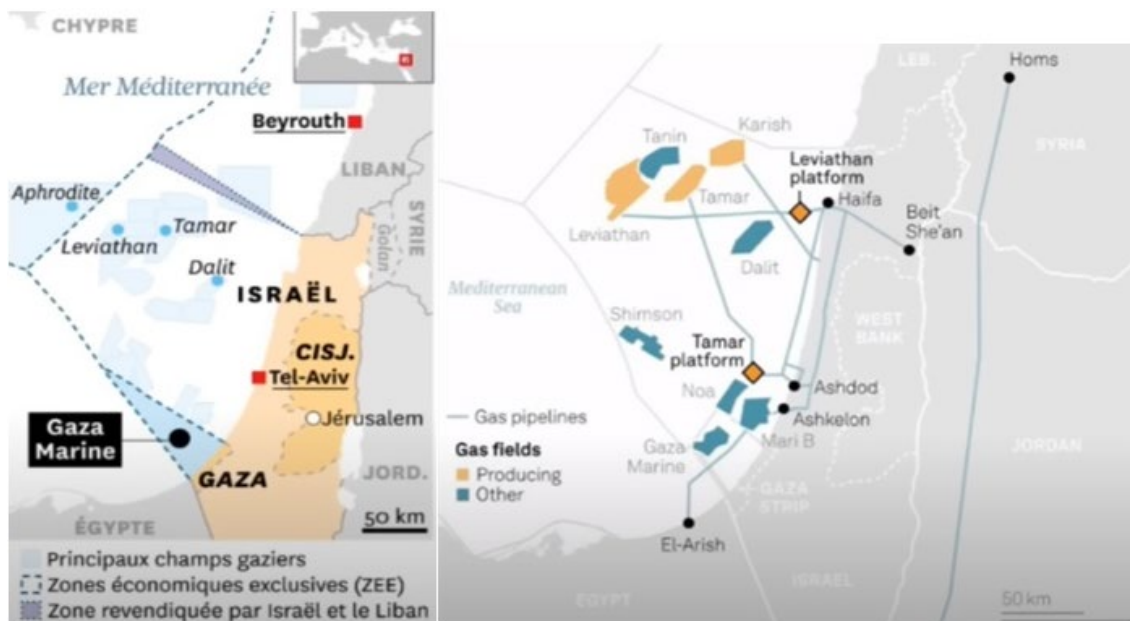
³ イスラエルにおける資源開発には、米メジャー企業は参加していない。代わりに米国のNoble Energyといった独立系企業がオペレーターを務めている。

⁴ BCMは、「Billion Cubic Meters」の略で、立方キロメートル。5BCMは、5立法キロメートル。

⁵ CNN 「イスラエルとレバノン、資源権益めぐり『歴史的』合意 海洋境界線を画定」
<https://www.cnn.co.jp/world/35194507.html> (2023/12/11)

⁶ Israel to develop Gaza offshore gas field in coordination with Egypt, PA

第1図 東地中海 イスラエルとガザ沖の海底ガス田とパイプライン⁷



が具体的に何を合意したのか詳細を知るのを待っている。メディアに対する（イスラエルの）声明に基づいて立場を表明することはできません。」⁸ と。さらにパレスチナ自治政府および隣国エジプトとの安全保障上の調整が必要だ、とも述べた。この協定が締結されれば、資金難にあるパレスチナ経済にとっては追い風となるだろう。このガス田は、ガザ地区・実効支配するハマスのガザ地区の沖合 36 キロメートルにあるガス田であり、パレスチナ・ハマスのためには自分たちの海底ガス田であり、イスラエルとの話し合いのなどの必要も余地もない。イスラエルは、奪取以外に、このガス田の開発に参加できる可能性などない。

2. ガス田奪取のためのガザからのパレスチナ人の追放・殲滅

ガザ地区のイスラム組織ハマスが10月7日に仕掛けた襲撃から始まった今次のイスラエルとハマスの戦争は、イスラエルによるガザ地区のパレスチナ人の絶滅の様相を呈している。戦闘開始から2カ月余りの間の死者数は、ガザのパレスチナ人16248人イスラエル

https://www.timesofisrael.com/liveblog_entry/pm-israel-to-develop-gaza-offshore-gas-field-in-coordination-with-egypt-pa/ (2023/12/13)

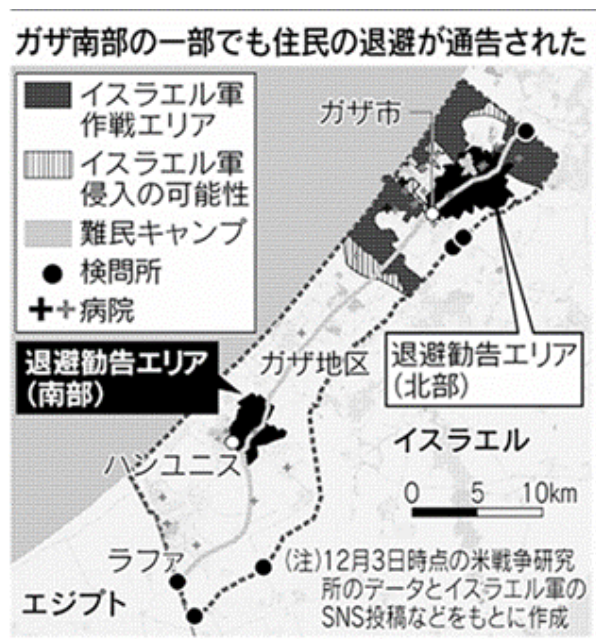
⁷石川雅一の YOUTUBE シュタインバッハ大学, パレスチナ自治政府のガザ地区の沖合に大規模な海底ガス田が存在しているという事実
<https://www.youtube.com/watch?v=EDzyF9-wGQo> (2023/12/13)

⁸ REUTERS “Israel gives nod to Gaza Marine gas development, wants security assurances”
<https://www.reuters.com/business/energy/israel-gives-nod-gaza-marine-gas-development-wants-security-assurances-2023-06-18/>

人 1200 人以上⁹ となっている。犠牲者のほとんどがパレスチナの民間人だ。しかしこの戦争の殺戮があまりにひどいだけではない

12 月 4 日中東の衛星放送アルジャジーラは、南部ハンユニスから 2 キロ弱の地点で戦闘が起きていると報じた。「イスラエル軍の報道官は、3 日（2023 年 12 月）『ガザ全域に対ハマスの地上作戦を拡大している』と述べ、南部にも侵攻していることを明らかにした。」¹⁰

第 2 図 イスラエルによるガザ消滅¹¹



ネタニヤフ首相が、10 月 7 日の「大いなる復讐」と叫んで開始した報復攻撃は、報復の限度を超えている。イスラエル政府は 12 月 11 日、パレスチナ自治区ガザに住むパレスチナ人をエジプトへ追い出す意図はないと主張した。しかしイスラム組織ハマスとイスラエルの戦闘で非人道的な殺戮が行われるなか、230 万人のガザ住民パレスチナ難民が、住居を失い南部への避難を余儀なくされている。「国連のグテレス事務総長は、多数のパレスチナ人がエジプトに流入することへの懸念を表明・・・国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRW）のフィリップ・ラザリーニ事務局長は、イスラエル

が住民をエジプトとの国境へ追いやり、越境させようとしていると非難した。」¹²ヨルダン政府も、イスラエルがガザ地区から全住民追い出そうとしている、と非難した。しかしイスラエルは、ガザ海岸沖 36 キロメートルの Gaza Marine ガス田奪取のためには、ガザ地区・パレスチナ住民を消滅させなければならない。

⁹ 「日本経済新聞」双方の死者 1 万 5000 人超える 終わり見えぬ惨劇 パレスチナ自治区ガザとイスラエルで（写真映像特集） - 日本経済新聞 (nikkei.com) <https://www.nikkei.com/telling/DGXZTS00007500T21C23A0000000/> (2023/12/14)

¹⁰ 「日本経済新聞」2023 年 12 月 5 日 13 頁

¹¹ 「日本経済新聞」2023 年 12 月 5 日 13 頁

¹² REUTERS Bassam Masoud、Nidal Al-Mughrabi 「イスラエル、ガザ住民をエジプトへ追い出す意図ないと反論」

<https://jp.reuters.com/world/security/APJN5YMRFNZJOHFGTZQEEXVPE-2023-12-12/> (2023/12/13)